

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2023年1月 NO.9



3学期の通級の学習 ～まとめの活動として作文に取り組みます～

今年度の通級も残すところ、あと4～5回となりました。毎年、通級では1年のまとめの活動として作文に取り組んできました。今年度も通級の担当の教師と相談しながらテーマを決め、作文を書く予定です。通級生が、作文を通して伝えたいこととは何なのでしょうか。

作文指導で育てたいこと

- ・読み手を意識して書くこと
- ・テーマに沿って記述すること
- ・始まりから終わりまでの文章構成を考えること

出来上がった作文は、第3回通級生の集いにて、通級生同士で発表し合います。また、文集にして在籍校へお届けしますので楽しみにお待ちください。

作文を通して多様な表現に触れ、豊かな表現力を身に付けていきたいですね。

第3回 通級生の集い 2月25日実施予定



昨年度、一昨年度と中止した第3回通級生の集いですが、今年度は会場を広くする、招待者を限定するなどの感染対策をとり、実施する予定です。1年間の通級指導の集大成として、学習内容を発表する場となります。お互いに刺激を受け、励まし合える時間にしていきたいと思えます。

頑張り受験生！

本格的な受験シーズンが到来しました。高校受験では、試験監督の指示を聞き取ったり、英語のリスニング問題があったりと情報保障が必要な場面が多くあります。配慮を願い出る場合は、「受験上の配慮申請」を在籍校に作成してもらい、受験校へ申請します。在籍校での検討や、受験校への問い合わせなど申請までに時間が掛かるため余裕をもって準備を進めていきます。配慮事項は、普段の学校の授業やテストで依頼している内容（座席を前にする、事前にリスニングの音量を確認する、など）にすることで、申請が通りやすくなります。中学生は、受験を見据えて自分の学校生活に必要な配慮を考え、「配慮実績」を積んでいきましょう。



受験を控えた通級生は、担当の教師と自分にとって必要な配慮は何かを考え、準備をしました。当日は、自分のやってきたことを信じて、体調を整えて臨んでください。

1月のスキルちゃん

～言語指導～



☆日記や作文の指導のポイント

(例: 気持ちの表現が毎回「楽しかった」「嬉しかった」などになっている。)

- 「何が楽しかったのか」を確認し、具体的な内容を加え「〇〇をしたのが、楽しかった。」と表現する。(内容によって「楽しかった」より「おもしろかった」の方が適切になる場合は、表現も改めるようにする。)
- 「心がはずむ」「天にも昇る気持ち(心地)」「心が痛む」など、様々な表現があることに触れる機会を作る。
- 国語の読み取りをとおして、直接的な感情表現はなくても、行動や情景から気持ちの動きが感じ取れることを理解し、感性を磨いていく。

* 聞き慣れない表現は丁寧に意味を確認して、使える言葉にしていきましょう。

～発音・発語のポイント～ プロソディー(韻律)

発話の中におけるリズム・アクセント・イントネーションなどをまとめてプロソディーと言います。一音一音の発音は難しくても(曖昧でも)、イントネーションやアクセントなどが合っていれば、それらしく聞こえ、文全体の明瞭度を上げることができます。(何を言っているのか伝わりやすくなります。)

年度初めのポイントにもありましたが、「教師が言って聞かせ、同じように言わせる」ということを今一度意識してみましょう。また、手の動きや板書を使ってアクセントやイントネーションを視覚的に示したり、2音節渡り(例:「ゆき・だる・ま」)で言うように促したりするのも有効です。